

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 奈良市立都跡中学校 (※正式名称を記載)
種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☐ 小学校 ☐ 小中一貫^{※注1}
☒ 中学校 ☐ 中高一貫^{※注2} ☐ 高等学校
☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校
☐ 特別支援学校
☐ その他 (例: 小中高一貫)
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む
所在地 〒630-8031

E-mail miato-j@naracity.ed.jp
Website <http://www.naracity.ed.jp/jhs02/index.cfm/11.html>
幼児児童生徒数 男子 123名 女子 137名 合計 260名
幼児・児童・生徒の年齢 13歳～15歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

① 生徒と地域がともにする活動

都跡中学校は、奈良の世界遺産『古都奈良の文化財』平城宮跡(へいじょうきゅうせき)の中心にあり、地域のまつりに参加することは、世界遺産に触れることになる。地域の「都跡ふれあいまつり」で、美術部や吹奏楽部の参加に加えて、今年度も本校生徒会本部が運営スタッフとして文化交流の部に参加した。この地域を身近に感じることで、この地域の世界遺産を守ることになる。

② 防災に係わる教育

本校は、2017年夏の台風接近により奈良市の避難所としてはじめて開設され数組の家族が、体育館や武道場に避難されてきた。そのために、奈良市より毛布を配布されたが、このまま、何度も開設された場合のことも考えて「かまどベンチ」の制作を生徒会、地域の方も一緒に考え制作することになった。2018年始業式の日場所と大きさを確認するために試掘りを行った。地域と生徒会、ボランティア10人で作業した。

③ 伝統文化に係わる学習

3学期に音楽の時間に琴の先生にきていただいた。日本の伝統楽器に触れ、「さくら」の学習をした。本校には、20面ほど琴があり生徒が二人一組になり、付け爪をつけて練習した。琴の譜面は、数字が書いてある独特なものであり、はじめてその譜面をみる生徒には、興味を持つ取組であった。

④ 環境整備に係わる学習

夏期休業中において、地域、保護者、ボランティア生徒による環境整備事業を行った。グラウンド整備には、例年より以上の生徒保護者の参加があり、草引き、夏野菜の片付け、溝掃除、植木の剪定に加えて、今年は、北館の廊下の壁面の塗装作業を行った。隅々まできれいにすることの楽しさや、充実感達成感が得られた。地域や保護者の方々も、本校生徒のたくましさに触れられた取組であった。



生徒と地域がとにもする活動



防災に係わる教育



伝統文化に係わる学習



環境整備に係わる学習

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

生徒会活動や特別活動（部活動）の範囲内で行っている。
夏期休業中の清掃活動は、全校体制で今後も行っていきたい。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

生徒の自主自立を基本に、生徒指導部の生徒会を中心に活動を計画し実行していく。

生徒も教職員も、今年度の取組を継続できるように次年度への引き継ぎをしっかりと行い計画し実行するつもりである。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

学校自己評価と学校関係者評価を2月までに行った、また、教職員、保護者及び生徒からアンケートを2017年末に取り学校HPにて公表している。

学校行事だけでなく、自己肯定感をあげる取組を地域なども活用しながら「しかけ」を多くし、自主的な取組に仕立てる教職員の方策を思考する事が大切である。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

本校 HP において学校行事の中で日々の活動については、随時更新している。地域の方の協力による「玄関の花」については、毎週水曜日に生けていただいているので、HP において公開している。

保護者や地域の方からは、学校の様子がわかり更新を楽しみにしていると聞いている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD 活動支援センター、ESD コンソーシアムとの連携など)
(200字程度)

※チェック事項 2-3 に対応

地域の諸団体(地域教育協議会、自治会、民生委員、保護司、少年指導協議会)の方々とのつながりも大切にしている。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)

※チェック事項 2-4 に対応

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

（3）平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

世界遺産学習は、本校がその中心であるため大切にしている取組であるが、修学旅行や校外学習等で、他地域の世界遺産にも触れる機会に取り組んでいる。

1 年生で、奈良の世界遺産の学習。2 年生で、京都の世界遺産の学習。3 年生は、四国方面への修学旅行の帰路に、姫路城の学習を計画し実行している。

地域との「都跡ふれあいまつり」は、9 月。地域との共同環境整備学習は、8 月。防災教育は、通年。

伝統文化に触れる取組は、「生け花」は、通年。伝統楽器「琴」にふれるのは、3 学期を予定している。